

川村ひろあき活動レポート

2018.03.10 Vol.166

川村ひろあき事務所：千葉市花見川区花島町480-6

東京オリンピック・パラリンピックを成功させ 誇れるまち「千葉市」を創ります!!

◎はじめに．．．。

年度末を控え、忙しい毎日をお過ごしのことと存じますが、如何お過ごしでしょうか。

日頃より絶大なるご支援・ご協力を賜っておりますことを心より厚く御礼申し上げます。

さて、平成時代の最後の議会となる平成31年第1回定例会は2月15日に開会し、平成31年度千葉市当初予算や千葉市公民館設置管理条例の一部改正、千葉市文化交流プラザの売却、新庁舎整備工事や新清掃工場（新北谷津清掃工場）の工事請負契約の承認など市長提出の81議案と議員提出の発議を審議し、3月6日に閉会しました。

いよいよ選挙を迎えますが、次の4年は、来年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、再来年の千葉市政施行100周年と重要な4年となります。

東京オリンピック・パラリンピックを成功させ、誇れるまち「千葉市」を創りますを公約に、戦って参る所存です。

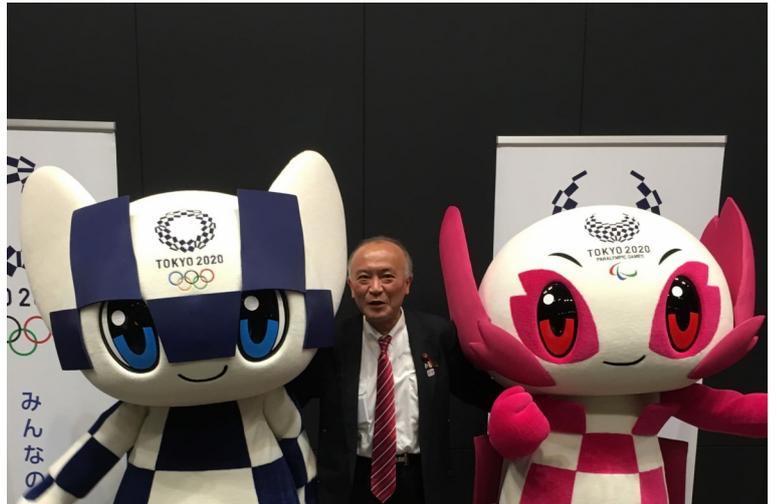
倍旧にも増して、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

◎幕張駅への快速停車の要望活動について

東幕張土地区画整理推進協議会の皆様とJR総武線・幕張駅への快速停車の要望活動を行って参りました。

国土交通省へは3月1日に伺い、蒲生篤実鉄道局長へ。JR千葉支社には3月7日に伺い、鈴木利幸総務課長へ要望書を提出して参りました。

国土交通省、JR千葉支社とも、今すぐの実現するものではないとのご見解でありましたが、もう4年で北口の駅前広場が完成すること。今後の地域の発展のためには幕張駅への快速停車が必要不可欠なことを強く訴え、次の時代を見据えて、是非、幕張駅への快速停車をご検討願いたいと要請しました。これからも実現に向けて努力していこうと思っております。是非、応援のほど、よろしくお願い申し上げます。



東京2020オリンピック・パラリンピック・シンポジウムにて



国土交通省・蒲生局長へ



JR千葉支社・鈴木課長へ

◎平成31年度千葉市当初予算のあらまし

平成31年度千葉市当初予算については既に新聞報道等で明らかになっておりますが原案のとおり可決されました。

一般会計が前年度比3.5%増の総額4610億円。

一般会計歳入のうち、市税収入は1986億円で前年度比2.3%増。法人税率の引き下げで法人市民税が減額になるものの、県費負担移譲に伴う税源移譲により個人市民税が増額になることや固定資産税が増額になることなどによります。また市債発行予算額は562億6200万円で前年度比14.8%増です。

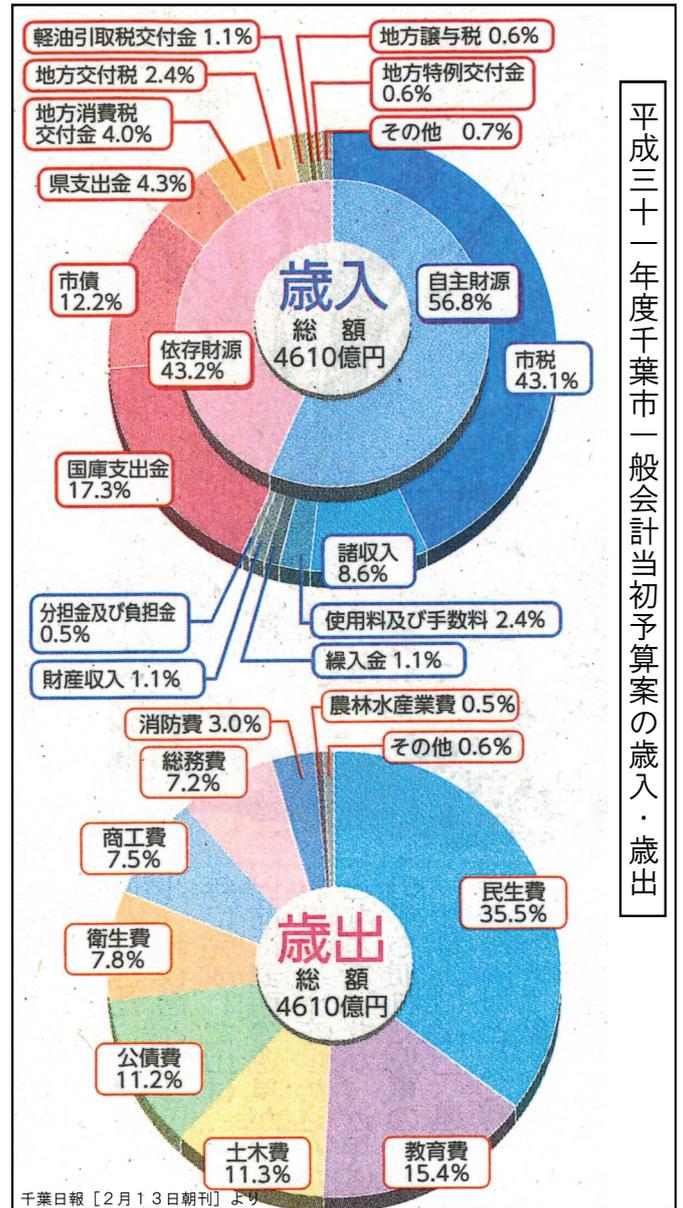
歳入に占める自主財源は2618億3800万円。歳入総額に対して56.8%と前年度に比べ1.1%増です。

一般会計歳出では保健福祉の分野である民生費が3.1%増の1637億6000万円。小中学校等の教育費が6.6%増の707億5500万円。道路整備・都市整備等の土木費が0.3%減の521億6700万円。公債費が2.9%減の513億9200万円。健康・医療等の分野である衛生費が2.8%増の360億6900万円。産業振興等の商工費が0.7%減の349億800万円。総務費が16.1%増の332億3200万円。消防費が17.9%増の137億6800万円等の構成となっております。

また、特別会計（17会計：企業会計を含む）は前年度比1.5%増の4516億9300万円で、全会計を合わせた予算規模は、前年度に比べ224億7800万円増えて2.5%増の9126億9300万円（史上最大額）です。

平成31年度の主な新規事業としては、2年後の市政100周年に向けた取り組みや来年の東京2020大会の市内開催種目を対象とした国際大会支援。拡充事業としては、スクールカウンセラーの増員などがあり、新規・拡充ともにソフト面の整備に重点を置いた予算編成となりました。

また、花見川区関連では、東幕張土地区画整理事業に15億2100万円。検見川稲毛土地区画整理事業に4億9500万円の予算が計上されました。



◎川村ひろあき事務所

※市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

〒262-0042

千葉市花見川区花島町480-6

TEL: 043-250-1021

FAX: 043-250-0071